

美術科学習指導案

生徒 第3学年C組 男子18名 女子21名 計39名
指導者 教諭 富尾 拓

I 題材『青い目に映る世界』

II 題材について

本美術科では、「学びの深まりが自覚できる美術の学習指導をめざして」を主題とし、自ら課題を見つけ、探求する力を育むための学習指導の工夫をすることで生徒に学びの深まりを実感させていきたいと実践研究に取り組んでいる。

本題材は、函館市では唯一、本校に存在する「青い目の人形」を取り上げ、これらの友情の人形をめぐる時代背景に迫りながら、「平和」をテーマに生徒自身の見方や感じ方を深めていく「鑑賞」の学習活動を行うものである。さらに、課題発見能力を高めるための基礎的な演習を通じて常に課題意識を持たせながら、感じ取ったことをもとに「表現」の学習活動へと展開していく。この中で、自分なりの意味や価値の広がり気付けたい。

III 生徒の実態について

3年生ではこれまで、自分自身の思いを伝え、語りかけるような作品制作への工夫や対象のよさや美しさを感じ、自らの価値観を広げ、深めていく学習活動を行ってきた。その中で感じたことをもとに創造することの楽しさを味わうことのできる生徒が多い。また、造形活動に対する興味や関心が高く、制作におけるこだわりや疑問を追究しようとする姿勢がみられる。しかし一方では、想像力を働かせ自分の思いやイメージをふくらませ、他者とともを広げていくことが困難である。

IV 題材の指導目標

・身近なものを見つめ感じ取った形や色彩の特徴、時代背景や美しさなどを基に主題を生みだしている。 【発想・構想の能力】	美術の創造活動の喜びを味わい、生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化などに関心を持ち、主体的に見方や理解を深めようとする。 【美術への関心・意欲・態度】
・形や色彩の表し方を身につけ、身近に存在する美術からイメージを持ち意図に応じて材料や用具の生かし方などを考え、創意工夫して表現している。 【創造的な技能】	
・感性や想像力を働かせながら鑑賞することで、時代背景や人々の思いに気づき、美術の見方を深めている。 【鑑賞の能力】	

V 指導計画(4時間扱い……本時1/4)

学習内容	指導内容	時間	<基礎的・汎用的な能力>との関連
グループに分かれ、「青い目の人形」を鑑賞し、キーワードを基に調べた情報を整理し、人形の持つ時代背景や美術を形づくっている諸要素との関わりから課題を見つける。	我が国の美術や伝統と文化に対する学習内容や国際理解を深め、そのよさや、雰囲気などを感じ取る感性を高めさせる。	1 本時 (1/1)	【課題対応能力】【人間関係形成・社会形成能力】
グループに分かれ、伝えたい内容について、内容の分かりやすさ美しさを考えて、「平和」をテーマに思いを込めたリーフレットを制作する。	テーマをもとに形や色彩、の効果を生かして、単純化や省略、強調などを考え、表現の構想をさせ表現させる。	2	【課題対応能力】【人間関係形成・社会形成能力】
「青い目の人形」の時代背景や受け継がれいまここに存在する意味についてまとめたことを発表し、生活の中に生きる美術の働きや美術文化に対する関心を高め、自分にとっての価値を考える。	日本と諸外国の美術や文化との相違と共通性に気づき、それぞれのよさや美しさなどを感じ取り、自分の価値意識をもって味わわせる。	1	【キャリアプランニング能力】

VI 学校研究との関連について

これまで私たちの身近に存在してきた「青い目の人形」の鑑賞を通じてその時代背景や今ここに存在する意味について興味を持たせる。思いや心情を想像力を働かせ分析的に解釈し、互いの考えを伝え合い、コミュニケーションスキルを高められるよう学習形態等を工夫した活動を展開する。

VII 本時案

1 題材 「青い目に映る世界」

2 学習目標

・身近な生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化などに関心をもたせ、主体的に見方や理解を深めようとする。

【美術への関心・意欲・態度】

・我が国の美術や伝統と文化に対する学習内容や国際理解を深め、そのよさや、雰囲気などを感じ取る感性を高めさせる。

【鑑賞の能力】

3 学習の展開

学習活動	教師の働きかけ	指導上の留意点
○学習内容を確認する。	○「青い目の人形」の提示。	○いる情報を交流させる。
○本時の学習目標の把握する。	○本時の学習目標を伝える。	○本時の見通しをもたせる。
「ウエンディー」の秘密を探ろう		
○グループに分かれ、グループ内で「青い目の人形」の情報を収集する。	○グループの意図について説明し、それぞれの役割を確認させる。 ・グループ（4～5名）にそれぞれの役割が記入された指示書を配布し一人ずつの役割を確認させる。 「私はどこからどうして来たの？」 「日本を旅立った黒い目のお友達」 「私の友達はどこへ行ったの？」 「黒い目に塗りなおされた人形」 「私が過ごした世の中の変化」	○タブレットPCを使用する。
○各グループから3名の親善使節を派遣させ、他のグループの取材を行う。	○タブレットを活用し指定された情報を収集させる。 ○資料の提供をする。 ○取材のテーマを設定し伝える。 ・5分間で2回の移動を行う。 「共通点を探る」 ・人々の善意・思いの重なり合い ・それぞれの友情人形 など 「平和を考える」 ・戦争の残酷さ ・子どもたちの願い・思い など	○ルールや方法を理解させる。
○取材した内容を交流し、整理して自分達のテーマ（課題）を決定する。	○取材の結果を発表させる。	○自分たちのテーマ（課題）を伝えさせ、取り上げたい視点を交流させる。
○次時の学習内容を確認する。	○次時の説明をする。	○各班がテーマ（課題）として取り上げた視点でリーフレット制作することを伝える。
○後始末をする。		

4 評価

(1) 「青い目の人形」に関心を持ち、自分の価値意識をもって味わうことができたか。

(2) 「青い目の人形」を通して日本と諸外国の美術や文化との相違と共通性に気づき、国際理解を深め、美術文化を継承し創造していくことの意義を感じる事ができたか。